

【論文等】

- ・石見国大森代官所の貸付政策(『島根史学会会報』第 43・44 合併号、島根史学会、2006 年)
- ・石見銀山領における掛屋についての一考察(相良英輔先生退職記念論集刊行会編『たたら製鉄・石見銀山と地域社会—近世近代の中国地方—』、清文堂出版、2008 年)
- ・絵図からみた田儀櫻井家の遺跡(『田儀櫻井家たたら製鉄遺跡発掘調査報告書—平成 16～18 年度の調査—』、出雲市教育委員会、2008 年)
- ・石見銀山の周辺地域について—中村家文書「享保十五年銀山拝借銀村々借渡帳」にみる拝借銀制度—(『中村家古文書あ・ら・か・る・と—「桜江古文書を現代に活かす会」報告書—』、桜江古文書を現代に活かす会、2008 年)
- ・田儀櫻井家の鉦・鍛冶屋の変遷(『田儀櫻井家たたら史料と文書目録』、出雲市教育委員会、2009 年)
- ・「安永五年鉄方御用留」の検討(『松江藩鉄師頭取田部家の研究』、2009 年)
- ・温泉津港の「みなと文化」(みなと総合研究財団、2010 年)
- ・石見銀山(乾隆明編『続 松江藩の歴史』、山陰中央新報社、2010 年)
- ・たたら製鉄と久村／宿場町久村／久村の製塩／久村の火災(『久村の歴史』、久村地区連合自治会、2011 年)
- ・石見銀山資料館史—地域における小規模博物館・資料館の存在意義— | 藤原雄高・平野芳英・仲野義文(『しまねミュージアム協議会共同研究紀要』創刊号、しまねミュージアム協議会、2011 年)
- ・「世界遺産石見銀山写真展」レポート(『季刊文化財』第 126 号、島根県文化財愛護協会、2012 年)
- ・隠岐国新銀山について(『石見銀山歴史文献調査報告書』Ⅶ、島根県教育委員会、2012 年)
- ・田部家と田儀櫻井家の共同経営—広瀬藩領堂ノ原鉦・鍛冶屋の事例から—(『田部家のたたら研究と文書目録—田部家文書調査報告書—』上巻、雲南市教育委員会、2012 年)
- ・現地学習の多様化の必要性(『世界遺産学習だより』第 11 号、大田市教育委員会、2013 年)
- ・勝部家所蔵の鉦山絵図面について—鶴峠銅山を中心に—(『世界遺産石見銀山遺跡の研究』3、島根県教育委員会、2013 年)
- ・解題「元禄六年石雲隠覚集」(『石見銀山歴史文献調査報告書』Ⅹ、島根県教育委員会、2014 年)
- ・石見銀山を歩く(『週間新発見！日本の歴史』第 28 号、朝日新聞出版、2014 年)
- ・大貫村の歴史と郷蔵(『平成郷蔵普請帳』、樹冠ネットワーク、2015 年)
- ・解題「番所書物留」について(『石見銀山歴史文献調査報告書』12、島根県教育委員会、2016 年)
- ・井戸平左衛門の事績と顕彰(『石見銀山の社会と経済—石見銀山歴史文献調査論集—』、ハーベスト出版、2017 年)
- ・廃城後の山城—石見銀山御料の御立山を中心に—(高屋茂男編『石見の山城—山城 50 選と明らかにされた城館の実像—』、ハーベスト出版、2017 年)
- ・邇摩郡大森町における寛政の大火の被害と復興(『地域に学び、地域とともに』、山根正明先生古希記念誌刊行会、2017 年)

- ・貸付証文にみる 19 世紀の鉱山町の様相(『石見銀山遺跡テーマ別調査研究報告書』2、島根県教育委員会、2017 年)
- ・石見国邑智郡潮村と中原家(『しまねミュージアム協議会共同研究紀要』第7号、しまねミュージアム協議会、2017 年)
- ・中世石見銀山積み出し港の地理的検討 | 高橋悟・仲野義文・藤原雄高(『島根地理学会誌』第 50 号、2017 年)
- ・研究紹介・予報 石見銀山に遺された江戸時代の鉱石標本 | 石橋隆・伊藤謙・仲野義文・藤原雄高・渡辺克典(『地学研究』64-4、2017 年)
- ・解題「銀山師高橋家蔵銀山覚書」について(『石見銀山歴史文献調査報告書』13、島根県教育委員会、2018 年)
- ・天明の大田騒動／異国船の来航と台場／上野四郎三郎借財一件／銀山街道の荷継訴訟／掛屋出入一件／(藤岡大拙監修『島根県の合戦』、いき出版、2018 年)
- ・世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」／熊谷家と拝借人宿(『石見銀山学ことはじめ<始>』I、大田市教育委員会、2018 年)
- ・熊谷家の沿革と家業(『石見銀山遺跡テーマ別調査研究報告書』3、島根県教育委員会、2019 年)
- ・石見銀山の藤田組経営時代(『産業考古学会』第 156 号、産業考古学会、2019 年)
- ・地域の水を知る／熱水が銀を溶かす／水が育む交流／恵みと災いの水(『石見銀山学ことはじめ<水>』II、大田市教育委員会、2019 年)

【連載】

- ・新・銀山あれこれ(『大田市文化協会会報』、2009 年～)
- ・大田だより(『島根日日新聞』、2013 年～)
- ・石見銀山たんけん隊(山陰中央新報こども新聞『週間さんいん学聞』2017 年～2018 年)

(2019 年 3 月 31 日現在)